

42 ( '02 山口大 )

【難易度】…標準

原点を  $O$  とする座標空間に 3 点  $A(2, 0, 0)$ ,  $B(0, 3, 1)$ ,  $C(1, 1, 2)$  をとり, 方程式  $z = -1$  で表される平面を  $\alpha$  とする.  $t > 2$  とするとき, 点  $P(2, 1, t)$  を考える. 4 つの直線  $PO, PA, PB, PC$  と平面  $\alpha$  との交点をそれぞれ  $D, E, F, G$  とする. このとき, 次の問いに答えよ.

- (1)  $\vec{EG}$  を  $\vec{ED}, \vec{EF}, t$  を用いて表せ.
- (2) 点  $G$  が  $\triangle DEF$  の周または内部にあるように,  $t$  の値の範囲を定めよ.

【テーマ】: 空間ベクトルと点の存在範囲

方針

(1) は, ベクトル方程式を考えて平面  $z = -1$  との交点を求めます. (2) は (1) の結果を用いて, 点が三角形の周および内部にある条件を利用して  $t$  の範囲を求めます.

解答

- (1) 直線  $PO, PA, PB, PC$  上の任意の点をそれぞれ  $W, X, Y, Z$  とすると, 直線  $PO, PA, PB, PC$  のベクトル方程式は, 実数  $k_1, k_2, k_3, k_4$  を用いて次のように表せる.

$$\text{直線 } PO : \vec{OW} = k_1 \vec{PO}$$

$$\text{直線 } PA : \vec{OX} = \vec{OA} + k_2 \vec{AP}$$

$$\text{直線 } PB : \vec{OY} = \vec{OB} + k_3 \vec{BP}$$

$$\text{直線 } PC : \vec{OZ} = \vec{OC} + k_4 \vec{CP}$$

成分で表すと,

$$\vec{OW} = (2k_1, k_1, k_1t)$$

$$\vec{OX} = (2, k_2, k_2t)$$

$$\vec{OY} = (2k_3, 3 - 2k_3, 1 + k_3(t - 1))$$

$$\vec{OZ} = (1 + k_4, 1, 2 + k_4(t - 2))$$

となり, これらの直線と平面  $z = -1$  との交点がそれぞれ  $D, E, F, G$  であるから,  $z$  成分を  $-1$  とすれば,

$$k_1 = -\frac{1}{t}, \quad k_2 = -\frac{1}{t}, \quad k_3 = -\frac{2}{t-1}, \quad k_4 = -\frac{3}{t-2}$$

である. ゆえに, 点  $D, E, F, G$  の座標は,

$$D\left(-\frac{2}{t}, -\frac{1}{t}, -1\right), \quad E\left(2, -\frac{1}{t}, -1\right), \quad F\left(-\frac{4}{t-1}, \frac{3t+1}{t-1}, -1\right), \quad G\left(\frac{t-5}{t-2}, 1, -1\right)$$

である. よって,  $\vec{EG} = p\vec{ED} + q\vec{EF}$  とおくと, これを成分表示して,

$$\left(\frac{t-5}{t-2} - 2, 1 + \frac{1}{t}, 0\right) = p\left(-\frac{2}{t} - 2, 0, 0\right) + q\left(\frac{-4}{t-1} - 2, \frac{3t+1}{t-1} + \frac{1}{t}, 0\right)$$

となる. ゆえに, 成分を比較すると,

$$\begin{cases} \frac{t-5}{t-2} - 2 = \left(-\frac{2}{t} - 2\right)p + \left(\frac{-4}{t-1} - 2\right)q \\ 1 + \frac{1}{t} = \left(\frac{3t+1}{t-1} + \frac{1}{t}\right)q \end{cases}$$

となる. これを解くと,

$$p = \frac{t(t+3)}{2(3t-1)(t-2)}, \quad q = \frac{t-1}{3t-1}$$

となる。したがって、

$$\vec{EG} = \frac{t(t+3)}{2(3t-1)(t-2)}\vec{ED} + \frac{t-1}{3t-1}\vec{EF} \dots\dots (\text{答})$$

(2)  $t > 2$  であることから、 $p > 0, q > 0$  である。よって、点 G が  $\triangle DEF$  の周または内部にあるための条件は、

$$p + q \leq 1$$

である。したがって、

$$\frac{t(t+3)}{2(3t-1)(t-2)} + \frac{t-1}{3t-1} \leq 1$$

$t > 2$  であるから、両辺に  $2(3t-1)(t-2) > 0$  をかけると、

$$t(t+3) + 2(t-2)(t-1) \leq 2(3t-1)(t-2) \iff t(3t-11) \geq 0$$

$t > 2$  より、求める  $t$  の値の範囲は、

$$t \geq \frac{11}{3} \dots\dots (\text{答})$$

#### 解説

文字計算なので、計算量が多く計算力が要求されています。(1) では、点 D, E, F, G の座標をどのようにして考えるかがポイントになりますが、空間座標で考えているので、ベクトル方程式を用いるのがよいでしょう。そうすれば、平面  $z = -1$  との交点を求めたいので、 $z$  座標を  $-1$  にすればよいですし、もしもこの平面が、 $x + y + z = 1$  などとなっていて、これに代入をして  $k_i (i = 1, 2, 3, 4)$  の値を求めればよいので、応用がききます。(2) では、点が三角形の周および内部にあるための条件なので、次の基本事項 (iii) を用います。

#### 【ベクトルの終点の存在範囲】

$\vec{OA} = \vec{a}, \vec{OB} = \vec{b}, \vec{OP} = \vec{p}$  とする。

$\vec{a} \neq \vec{0}, \vec{b} \neq \vec{0}, \vec{a} \not\parallel \vec{b}, \vec{p} = s\vec{a} + t\vec{b}$  とする。また、 $s, t$  を実数の変数とする。 $s, t$  に条件があると、次のような図形を表す。

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| (i) 直線 AB                              | $s + t = 1$                        |
| (ii) 線分 AB                             | $s + t = 1, s \geq 0, t \geq 0$    |
| (iii) $\triangle OAB$ の周および内部          | $s + t \leq 1, s \geq 0, t \geq 0$ |
| (iv) OA, OB を 2 辺とする平行四辺形 OACB の周および内部 | $0 \leq s \leq 1, 0 \leq t \leq 1$ |